

LGBT若手研修講師育成事業

独立行政法人福祉医療機構（WAM）が行う社会福祉振興助成事業（WAM助成）は、国庫補助金や寄付金を財源とし、高齢者・障害者などが地域のつながりのなかで自立した生活を送れるよう、NPOやボランティア団体などが行う民間の創意工夫ある活動などに対し、助成を行っています。

今号では、WAM助成を活用した認定NPO法人ReBit（リビット）の取り組みを紹介します。

ありのままの自分で 大人になれる社会を目指して

近年、個人の尊厳に深く関わる人権問題の一つとして理解が進んでいるLGBTは、日本では人口の8・9%、約11人に1人が該当するといわれている（電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2018」）。その一方で、LGBT当事者は周囲の無理解・支援不足により、とくに学齢期の自殺念慮やいじめ経験のハイリスク層となっているため、LGBTに関する理解を深める研修ニーズが急速に高まっているが、講師を担う人材が不足していることが課題となっている。

東京都新宿区にある認定NPO法人ReBitは、「LGBT問題の今を変える、10年後

を創る」というスローガンのもと、LGBTを含めたすべての子どもが、ありのままで大人になれる社会の実現を目指している。

同法人の設立経緯は、トランスジェンダーである代表理事の薬師実芳氏が、大学在学時に学生団体を立ち上げ、LGBTに関する啓発活動を目的とした出張授業を開始したことに始まる。平成26年3月にNPO法人化し、平成30年7月に認定NPO法人の認可を受けている。学生団体としてスタートし、法人の活動にはセクシュアリティを問わず、大学生や20歳代の若者を中心に、約600人が参加していることが特色となっている。

主な事業は、教育事業をはじめ、キャリア事業、学校・教職員向けの教材の作成である。教育事業では、LGBTへの理解を深めるため、全国の学校や行政で学生・教職者、行政職員などを対象にした出張授業・研修を実施している。これまでに出張授業・研修は860回開催し、受講者は約11万人にのぼるという。

キャリア事業では、LGBTの学生の就活支援を中心に、就活生・就労生へのキャリアカウンセリングの実施やフォーラムを開催し、情報提供や相談の場を提供するほか、企業への研修やコンサルテーション、行政等と連携した就労支援者の育成を行っている。就

WAMから ひと言

育成したLGBT講師が全国各地で情報を発信し、ロールモデルとなっていくことを目指して、講師入門講座、実地研修、ステップアップ講座を開催しました。講師育成では、コンピテンシーシートを用いて自己評価と他者評価を行うなどの工夫もされていました。

また、全国の学校、行政、企業などを対象に行ったLGBTに関する実地研修は、理解の促進に繋がり、その後も教育機関などから研修依頼が寄せられております。当初の目標通りLGBT課題を解決する地域リーダーの育成に寄与していることを評価します。

労支援者の育成では、ハローワークや大学のキャリアセンターの職員、高校の進路指導の教職員にLGBTを正しく理解してもらい、その3者を結びつけることで就活や就労をしやすくすることに取り組んでいる。

LGBT研修講師の育成に取り組む

同法人は、令和元年度のWAM助成を活用し、「全国で『地域リーダー』としてのLGBT若手研修講師育成モデル事業」を実施した。同事業は、全国でLGBTに関する研修の講師を担える人材を育成することを目的に、①LGBT講師入門講座、②実地研修、③ステップアップ講座を開催した。

事業を実施した経緯について、教育事業部



マナージャーの小川奈津己氏は次のように語る。

「LGBTに関する研修のニーズは、学校、行政、企業を問わず高まっており、需要に対して講師が足りていない状況にあります。基本的に出張授業や研修の講師は、全体の進捗やワークを担当する『メインスピーカー』と、LGBT当事者が自分自身のライフヒストリー（生い立ちや経験）を伝える『サブスピーカー』とのペアで実施します。これまで当法人は『サブスピーカー』の育成を行ってきましたが、助成事業で新たに自立的に研修講師を務められる人材の育成に取り組みました。さらに、全国各地で講師を担える人材を育成することにより、その人たちが各地域のリー



入門講座は、新宿区の法人事務所や区内の貸会議室で実施したほか、年度末は新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインで開催した

全国の講師志望者16人が受講

ダーとなりLGBTに関する情報を発信し、ロールモデルになっていくことを目指しました」（以下、「」内は小川氏の説明）。

講座は、半年間のプログラムを上期と下期の2回に分けて1年間実施した。対象はLGBT講師を志望する30歳未満の当事者として、1回目は首都圏在住の志望者に限定し、9人の応募者のうち7人、2回目は対象を全国に広げ、24人の応募者のうち9人を受講者として選考した。

「当法人は出張事業を開始した当初から『人肌の温度で伝える』ことや、授業が終わったときに『その人を好きになってもらう』ことを大切にしてきました。そのため、選考にあたっては、このようなスタンスで講師を務めてもらえるよう、人としての魅力があること、自分自身のことを言語化して伝える能力があること、自らのセクシャリティをある程度受け入れることができ

ている人を書類選考と面接を通して選ばせていただきました」。

講座の周知方法としては、専用サイトを開設し、ホームページやSNSなどで案内した。応募については、上期は学生が中心で、下期はこれまで同法人と関わりがなかった人や社会人も多かったという。

入門講座と実地研修でスキル習得と経験を重ねる

LGBT講師の入門講座（上期3回、下期4回）は、新宿区にある法人事務所や区民センターで開催し、年度末は新型コロナウイルスの

事業概要

助成額
399万円

令和元年度事業

認定NPO法人ReBit

全国で「地域リーダー」としてのLGBT若手研修講師育成モデル事業



【事業概要】

LGBT子どもたちが健やかに安心して成長できることを目的に、「地域の課題を解決する、地域のリーダー」として研修の講師を担える人材を育成するとともに、地域への定着を支援する事業



【実施内容】

- ◆ **LGBT講師入門講座**
LGBT講師志望者に対し、多様な性に関する知識の説明方法や対象者別ワークの実施方法などを伝える入門講座を実施
- ◆ **実地研修**
入門講座と並行し、講師志望者の習熟度に応じてReBit職員とともに研修講師を務める実地研修を実施
- ◆ **ステップアップ講座**
講師志望者が自立的に講演できるようにするとともに、研修の質を向上させるための講座を実施



【成果】

- ◆ 前期・後期を合わせて7回実施した入門講座は、延べ78人のLGBT講師志望者が受講。受講者が法人職員とともに研修講師を務める実地研修は全92回開催し、延べ107人が講師を務めた
- ◆ ステップアップ講座（全120回）は、メンタリング、コーチングの講義をはじめ、勉強会や個人面談などを実施し、延べ234人が参加した
- ◆ 各種プログラムを受けた16人の受講者のうち、13人が修了した。全国9地域から「地域の課題を解決する、地域のリーダー」としての役割を担う人材を育成することができた
- ◆ 行政や学校、企業などを対象に実施した実地研修は、延べ1万7634人が受講し、LGBT問題に関する理解の促進につながった



感染拡大の影響によりオンラインで実施した。入門講座では、LGBT講師の役割をはじめ、ライフストーリーの作成と発表、多様な性に関する基礎知識の説明方法、対象者別ワークの実施方法について学んだ。

最初に、自分の生い立ちを振り返りながら、出張授業や研修の軸となるライフストーリーを作成することに取り組み、その後は多様な



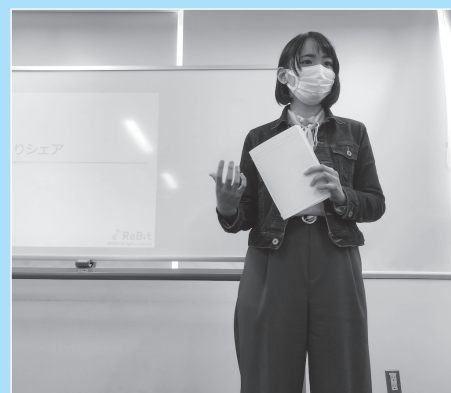
全国9地域から受講者16人のうち、13人が修了した



ステップアップ講座では、外部講師によるメンタリング、コーチングの講義のほか、勉強会や個別面談などを実施した

性に関する基礎知識、ワークの方法や説明の仕方についてインプットとアウトプットを繰り返ししながら訓練を行った。

また、入門講座と並行し、同法人が全国の学校、行政、企業から依頼を受けた出張授業・研修で、講座志望者が法人職員とともに講師を務める実地研修を実施した。実地研修は上期に36回、下期に56回の計92回開催し、延べ107人の講師志望者が講師を務めた。



学校や行政、企業などを対象にした実地研修では、講師志望者は法人職員とともに研修講師を務めた

「実地研修は、入門講座ですべてのスキルを習得してから行うのではなく、まずはライフストーリーが話せるようになった段階で『サブスピーカー』として実際の研修の場で発表していきます。その後は入門講座に戻り、次に基礎知識が話せるようになれば、また実地研修で経験を積むことを繰り返し、入門講座と実地の場を行き来しながら進めていくことがプログラムの特徴となっています。最終的には、入門講座の内容をすべて習得して実地研修での経験を積み上げた人は、サブに付いた法人職員のサポートを受けながら、メインスピーカーを経験していきます」。

研修の質を高める ステップアップ講座を開催

さらに、研修の質を向上させることを目的としたステップアップ講座を開催した。

上期は、講師として各地域で活躍していくためには、自分自身の心身の健康を維持しなくてはならないことから、外部講師によるメンタリングの講義を行い、下期は講師志望者が直面している課題について、一緒に実地研修を行っている職員から評価・アドバイスを受ける個別面談を中心に行った。

「講師育成では、LGBT研修における講師の能力を13項目に細分化し、S・Cの4段階で各項目の到達度を測定する『コンピテンシーシート』を用いて、自己評価と他者評価を行いました。個別面談ではシートをもとに、到達度の確認や次のステップに上がるために必要なことについてアドバイスしました」。



そのほかにも、講師志望者の発案により、一人ひとりのメンバーがもつ知識や経験を共有する自主勉強会「リソース会」を開催した。「リソース会」では、医療職として働くメンバーや、トランスジェンダーで性別適合手術を受けて戸籍や性別を変えたメンバーなどが自らの経験について伝えあい、自分一人では経験できないことを共有することでLGBTに関する知識を深めることにつなげている。

全国9地域から13人が修了

助成事業の成果として、講座を受講した16人の講師志望者のうち13人が修了し、首都圏をはじめ、全国9地域から修了者を出すことができた。

「講師育成に取り組むこと自体がチャレンジで、さらに全国に広げることができたというのは大きな成果だと思います。これまで当法人が10年間活動してきたなかで、10人に満たなかった講師について1年間で13人の修了者を出すことができ、短期間で質の高い講師を育成していく足がかりにもなりました。また、群馬県でLGBTに関する講演活動を行う支援団体は、自団体で講師を育成することは難しいということで、上期と下期の講座に職員1人ずつが受講し、修了後は地元で講演活動をしていくなど、他地域の支援団体の役に立てたことも非常に大きな意味があったと考えています」。

さらに、助成期間中に実地研修として実施した全国の学校や行政、企業などを対象にしたLGBTに関する研修は、延べ1万76

活動を継続してもらう サポート体制をつくる

認定 NPO 法人 ReBit

教育事業部マネージャー 小川 奈津己氏



助成事業では、法人として初めて、自主的にLGBTに関する研修講師を務められる人材の育成に取り組み、修了者はそれぞれの地域のリーダーとしてLGBTに関する情報を発信しながら、地域に貢献しています。

当初の想定では、育成した人たちは地元で活動していくため、ReBitの活動から離れてしまうことを覚悟していましたが、地域での活動を行いながら、当法人が主催する研修の講師を務めるなど、多くの人たちが活動に協力してくれています。

講師育成の課題としては、やはり「人的コスト」です。今回はコストを割いた分の成果を得ることができましたが、不確定要素があります。今後はよりプログラムを精査し、本当に必要なものを残し、育成した人材が発信者として活動を続けてもらえるようにサポート体制を整えていく必要があると考えています。

◆団体概要

〒162-0052

東京都新宿区戸山 1-1-5 エールプラザ戸山台 301 号室

TEL / FAX : 03-6278-9909

U R L : <https://rebitlgbt.org>

設立 : 平成 26 年 3 月 (任意団体 : 平成 21 年)

代表理事 : 薬師 実芳



社会福祉振興助成事業に関するお問い合わせ

●NPO リソースセンター

NPO 支援課 (助成事業の相談・募集、NPO の融資相談等)

TEL : 03-3438-4756 FAX : 03-3438-0218 (共通)

NPO 振興課 (助成事業の広報、事業評価等)

TEL : 03-3438-9942 FAX : 03-3438-0218 (共通)

NPO 等の民間福祉活動への
応援よろしくをお願いします!

当機構では
寄付金を募集
しています



お問合せ先 : 03-3438-0211 (総務部総務課)

34人が受講し、理解の促進につながった。その後、群馬県や埼玉県、神奈川県、東京都の教育機関などから研修の依頼が寄せられているという。

今後の展望としては、これまで比較的時間に余裕のある学生など若者を中心としてきた講師育成対象者を、当事者ではない「アライ」(Ally)を中心に、教職員や保護者、定年退職した人などに広げていくことを構想している。

「LGBTに対する理解や知識があり、味方になりたいと考えている人たちのことを『アライ』と呼ぶのですが、教職者が『アライ』であれば、LGBT当事者の子どもたちは安心して学校に通うことができ、保護者であれば家の中に居場所がないということがなくなります。身近な人が『アライ』であることは

非常に重要だと考えています。講師育成対象を仕事をしている人に広げていくためには、よりプログラムを精査して短期化することが必須になります。現在は1カ月間の毎週末で必要なスキルを習得できるプログラムの開発に取り組んでいます」。

助成事業で実施した育成プログラムのノウハウを活かし、LGBT講師のみならず多方面での育成プログラムが確立されることが期待される。



この著作物は著作権法、国際条約およびその他の知的財産権に関する法律や条約によって保護されています。版權者(独立行政法人福祉医療機構)ならびに著作権者の許可を得ない複製(コピー)、再配布を、固くお断わりいたします。